

未来につなげたい、大切な記憶

UNFORGETTABLE MEMORIES LEADING US FORWARD

国立療養所長島愛生園「悉皆調査」を実施しています

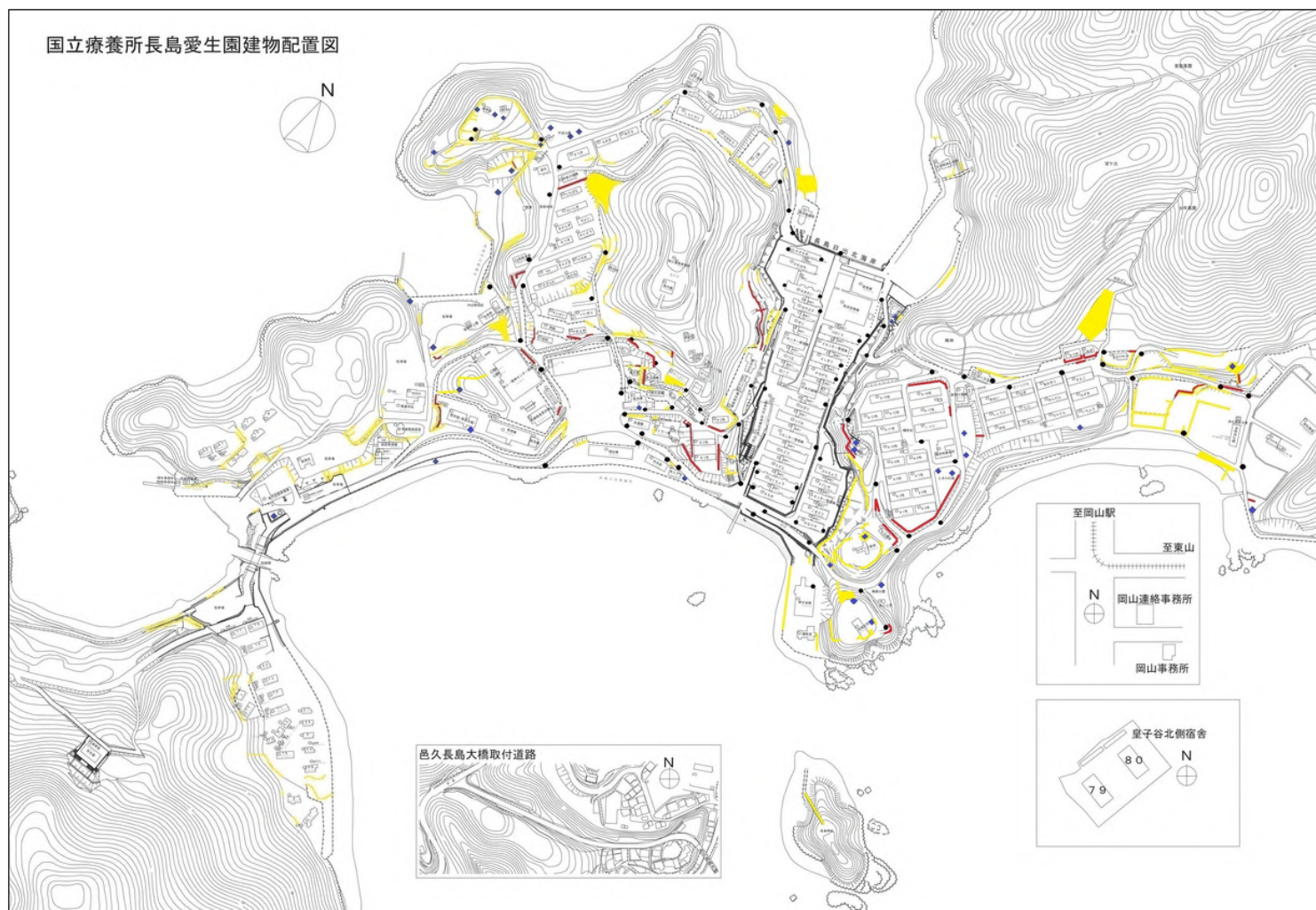
ユネスコ世界文化遺産登録のためには、対象資産が文化財保護法による指定文化財として保護されていることが必要です。本法人ではハンセン病療養所の特徴に照らし、「国指定史跡」として保護するのが最適であると考えています。

本法人が2021（令和3）年度に策定した「国立療養所長島愛生園保存活用ビジョン-2030年 開園100年を目指して-」では、長島愛生園が国指定史跡にふさわしい歴史と価値を有していることを説明する調査報告書を作成すべく、愛生園敷地内の現状を漏れなく調べてまとめる「悉皆調査」の必要性を記載しました。

本号では、本年度、入所者自治会様や歴史館学芸員様、「愛生」誌編集部スタッフ様や職員の皆様のご協力をいただきながら実施中の「悉皆調査」の一部をご紹介します。

（ミニ・クイズ）

下の表は現在の調査状況をまとめたものです。光ヶ丘や旧農区はまだ調査できていませんが、●はハンセン病療養所に特徴的なあるモノの所在を示しています。一体●は何でしょうか？（答えは本号中に記載しています。）



国立療養所長島愛生園保存活用ビジョン-2030年 開園100年を目指して-

<https://www.hansen-wh.jp/report/>



国立療養所長島愛生園「悉皆調査」

調査項目は、建物、構築物、記念物、遺構、遺物、旧道、植生（景観木・自然木）、インフラ施設、標識、動物、地質、自然環境など多岐に渡ります。現在調査中の代表的なものは以下のとおりです。

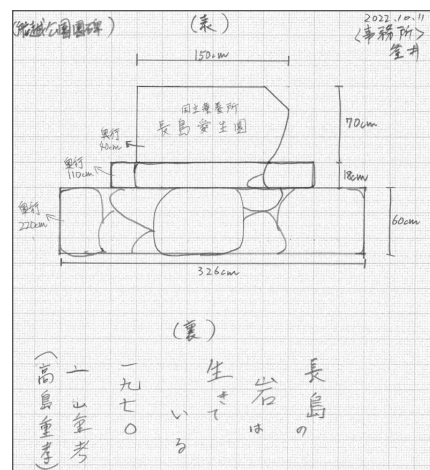
①石積擁壁

現代的なコンクリート擁壁の前時代の構築物です。職員地帯・患者地帯を問わず遺存します。陶製排水管和セットになっている例を多くの箇所を確認しています。



②石碑・像

戦前・戦後を通じて、職員地帯・患者地帯を問わず設置されています。サイズの簡易計測を実施し、まとめています。「愛生」誌編集部には過去にこれらの来歴等を調査した資料が存在しており、今回の調査結果と一体化する予定です。



③旧道

現在の愛生園内の道路はほぼ全てが舗装されていますが、旧農区以外にも未舗装の旧道が遺存することを確認しています。

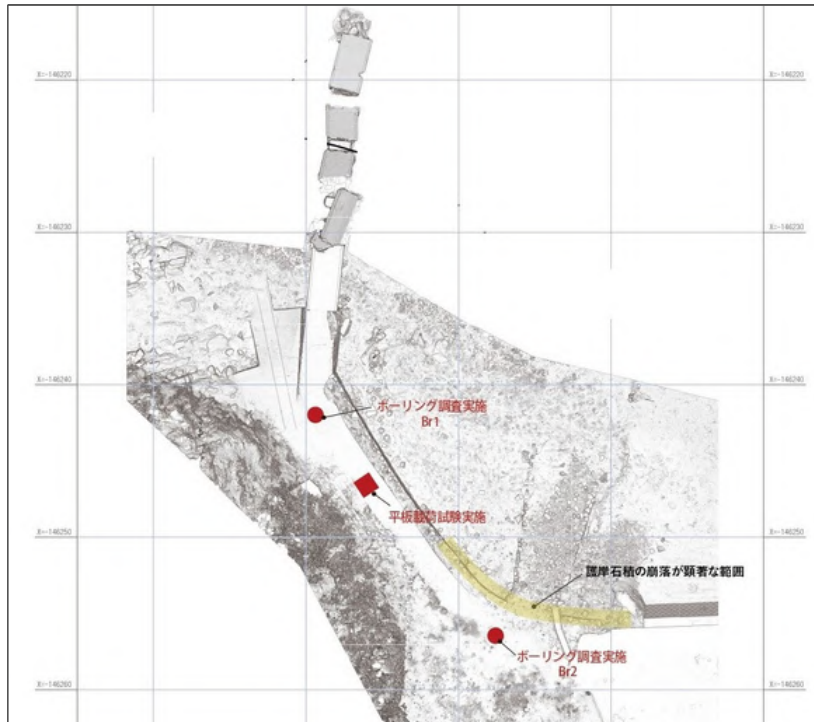


一朗道の南北（右写真の黄色線）に遺存する旧道

（5頁に続く）

国立療養所長島愛生園「収容桟橋」保存修理・整備活用工事実施設計に向けた調査

10月にボーリング調査を2箇所で実施し、地盤の詳細把握に向けたデータを取得しました。

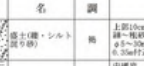


ボーリング調査実施箇所 (Br1、Br2)



Br1から掘り出した長島の岩盤



標準深層				観察記録		標準貫入試験				採取試料・単位置試験				
尺	高	度	厚	土質記号	土質名	色調	記事	深層	打撃回数 10cm毎の 打撃回数	標準貫入試験 N	試験番号	採取深度	試験名	
m	m	m	m					m	140230 10/20 10/20	N		m		
0.50	-0.70	0.70	0.70		褐色(黒・シルト質砂)	地	上層100mm程度はコンクリート舗装、 砂・砂礫、シルトを全体に混入、 約30~200mm層が全体に混入、 0.35m付近に約1000mm程度の砂層を混入、 中硬質。	0.30	30	2	43	300.0		
1.00					石炭層砂	灰	試験は主に30~70cmの柱状コアで採取、 前部端は初期に露出する。コアは露出より 約1m前後まで、コンクリート層により 軽い変質帯を貫する。コアは露出より、 1.0m付近に、コンクリート層により、 変質帯が見られ、強く粘土を混入。							
1.50														
2.00														

(Br1)

地表の直下から岩盤が現れました。桟橋建設時には自然地形を最大限利用し、施工量を最小にしていたことが推定できます。

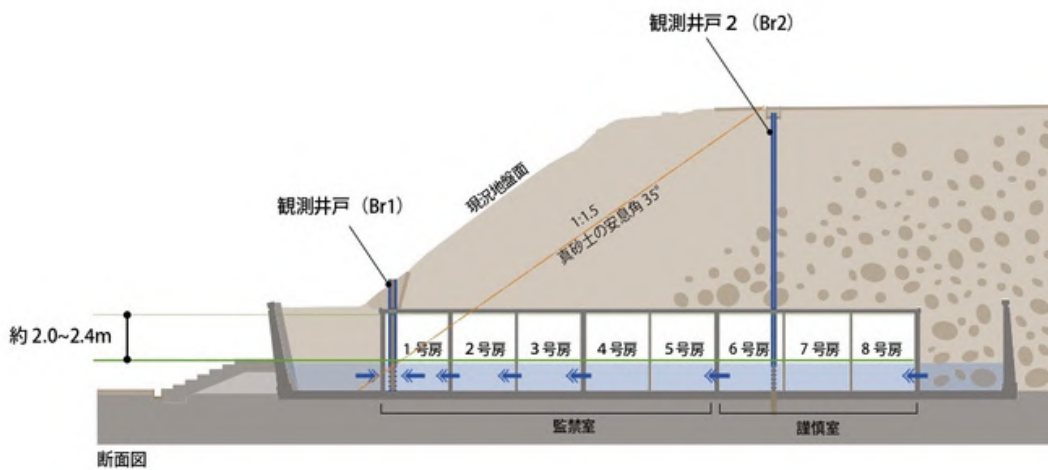


標準深層				風 察 記 録		標準貫入試験				採取試料・原位横試験				
尺	高 度	厚	土質記号	土質名	色	土質記号	土質名	深 度	打 撃 回 数	10cm毎の打撃回数	N	試験番号	深 度	試 験 名
m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
0.50	-0.50	0.50	0.50	シルト質砂	褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	0.50	10	10	10	10	10	10
1.00	-1.00	1.00	1.00		褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	1.00	10	10	10	10	10	10
1.50	-1.50	1.50	1.50		褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	1.50	10	10	10	10	10	10
2.00	-2.00	2.00	2.00	砂質粘土	褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	2.00	10	10	10	10	10	10
2.50	-2.50	2.50	2.50		褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	2.50	10	10	10	10	10	10
3.00	-3.00	3.00	3.00		褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	3.00	10	10	10	10	10	10
3.50	-3.50	3.50	3.50	砂質粘土	褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	3.50	10	10	10	10	10	10
4.00	-4.00	4.00	4.00		褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	4.00	10	10	10	10	10	10
4.50	-4.50	4.50	4.50		褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	4.50	10	10	10	10	10	10
5.00	-5.00	5.00	5.00	砂質粘土	褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	5.00	10	10	10	10	10	10
5.50	-5.50	5.50	5.50		褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	5.50	10	10	10	10	10	10
6.00	-6.00	6.00	6.00		褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	6.00	10	10	10	10	10	10
6.50	-6.50	6.50	6.50	砂質粘土	褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	6.50	10	10	10	10	10	10
7.00	-7.00	7.00	7.00		褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	7.00	10	10	10	10	10	10
7.50	-7.50	7.50	7.50		褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	褐色(黒・シルト質砂)	7.50	10	10	10	10	10	10

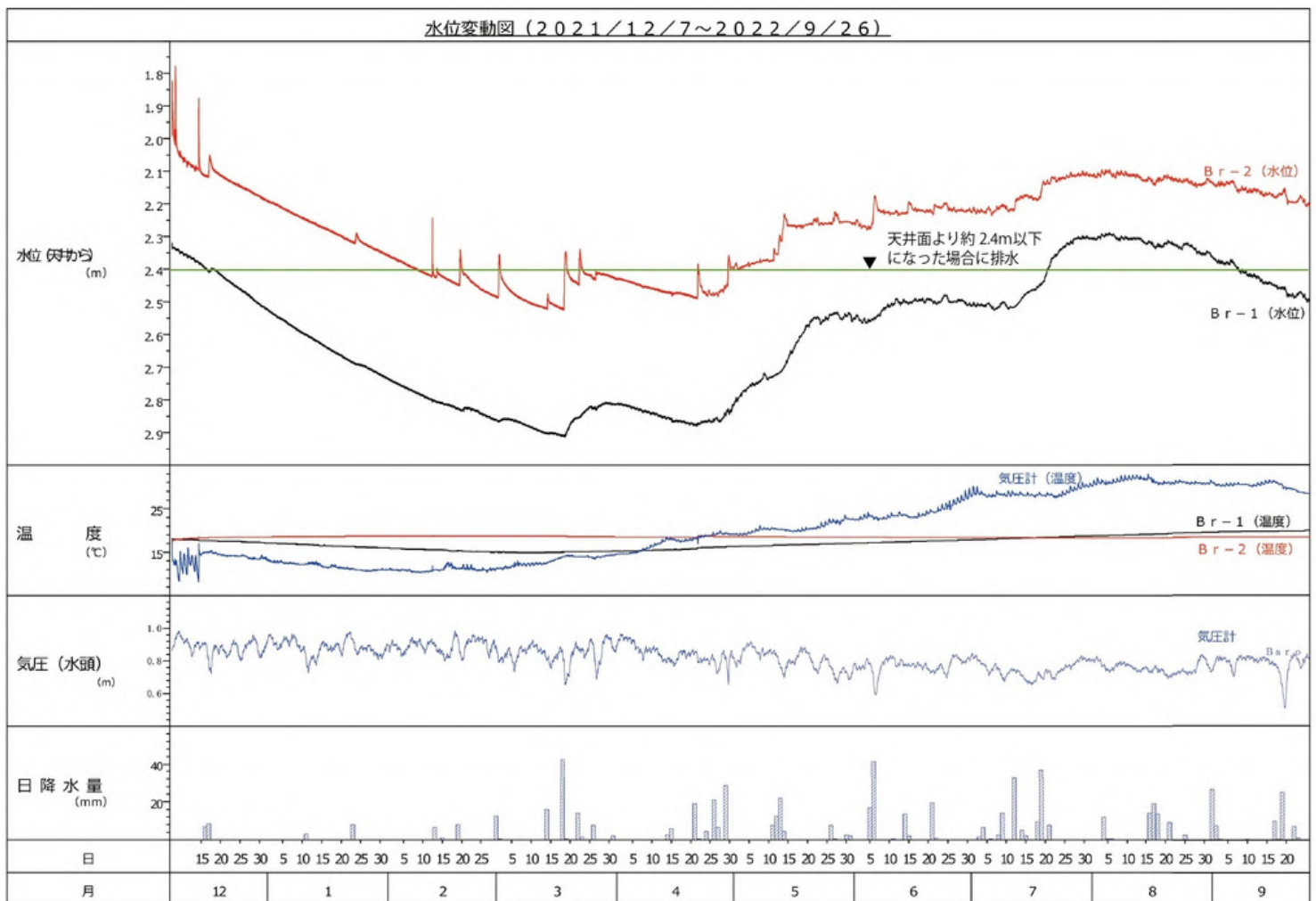
(Br2)

地表から地下5mまでは風化土が土砂として堆積しています。深さに比例して地盤も硬くなっています。地下5m付近で岩盤に達しました。

国立療養所長島愛生園「監房跡」 房内水位變動調査



昨年度、最も海側の監禁室1号房と奥から3つ目の謹慎室6号房にそれぞれBr1、Br2の観測井戸を設け、その中に水位計を投入・設置し房内の水位及び水温の変動データを継続的に取得しています。



水位計のデータを分析した結果、次のことが明らかになりました。

- ①Br1、Br2ともに雨期には水位が上昇する。
- ②水位はBr2（山側）がBr1（海側）よりも常に高い。
- ③Br2の降雨時の応答は、雨期は乾期より鈍い。
- ④Br1の降雨時の応答は、雨期も乾期も鈍いが、上昇幅はBr2より大きい。
- ⑤乾期である調査開始時（昨年12月）の水位が本年雨期より高かった原因は現段階では不明である。
特殊要因の介在可能性を含めて調査する。

④盲導柵・盲導植樹

柵はハンセン病の後遺症で視力を失った盲人の人々を補助する鉄製の構築物です。人々は白杖を柵に当てて移動していました。植樹は柵を設置する予算が不足していた時代の名残です。1962（昭和37）年には盲人会設立10周年を記念し、各方面より苗木、資金の寄贈を受けた植樹も行われました。これらの総延長約800mが愛生園内に現存することを確認しています。鉄パイプの直径や間隔は数パターンありますが、大部分が錆びて茶褐色化しており、一部は倒壊しています。



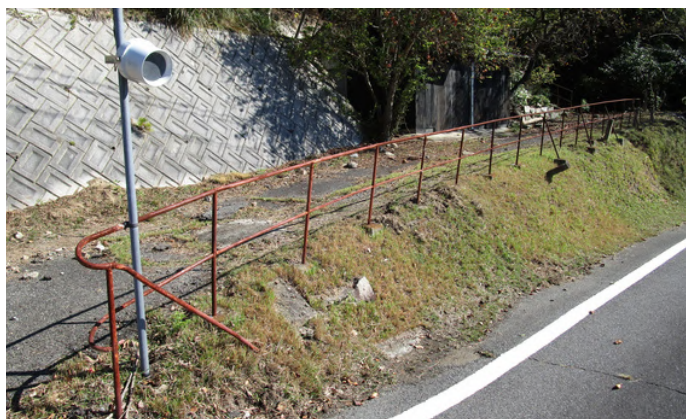
（創立80周年記念誌第二部p.179）

⑤盲導ラジオ（（電気）盲導鈴からの変遷）

④同様に盲人の人々を補助する機器です。道の分岐点に設置され、そこから道が複数に別れていることを示します。かつては自然風で音が鳴る鈴が設置されていましたが、

1954（昭和29）年には電気式が導入されました。その後、現在のラジオの導入・普及の過程については調査中です。

現在の愛生園内には約90個の盲導ラジオが設置されていることを確認しています。1頁の表にて●で示しているモノは盲導ラジオです。



道の分岐に設置されるラジオと柵



かつての盲導鈴の写真（歴史館蔵）

塗装修繕中の邑久長島大橋

橋の半分が常に足場で覆われてる珍しい景観が望めます。修繕は年度内に完了予定とのことです。



古い塗装を剥がし、下地が見える状態（9月）



一部の塗装の完了後（10月）

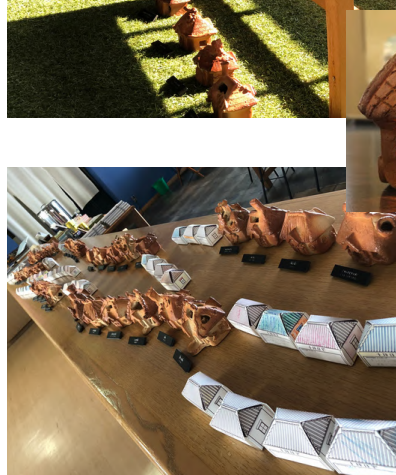


みんなでつくり、語り継ぐ「十坪住宅貯金箱」プロジェクト

2019（令和元）年、寒風陶芸会館様（瀬戸内市牛窓町長浜）は長島愛生園「十坪住宅貯金箱」のリバイバル版を愛生園入所者様との協働で製作。瀬戸内市ふるさと納税返礼品として現在もお求めいただけます。本年度、陶芸会館様は十坪住宅の歴史を作陶を通じて語り継ぐ標記プロジェクトを展開中。8月・9月に就学前のお子さんを含む約40名の皆様が自由な発想で作品を完成させ、10月に陶芸会館様の窯で焼成された作品群は、今月11月に喫茶さざなみハウスと牛窓テレモーク、瀬戸内市立図書館で巡回展示されました。陶芸会館様では今後、作品を作られた皆様にご自身の作品をお届けするとともに作品集を発行される予定です。



愛生園「内白間窯」提供の土を混ぜた原型



焼成前の作品群



展示（さざなみハウス、牛窓テレモーク）

作陶風景

寒風陶芸会館

<https://www.sabukaze.com/index.html>



瀬戸内市ふるさと納税返礼品「十坪住宅貯金箱リバイバル版」

<https://setouchi-cf.jp/index.cgi?c=item-2&pk=893>



ふるさと納税でご支援ください

本法人の活動費は、岡山県瀬戸内市に寄せられたふるさと納税でお支払いいただけてます。瀬戸内市内の事業者様によるお礼の品も充実。所得税と住民税の軽減措置も受けられます。引き続きご支援くださいますようお願いいたします。また、お近くにふるさと納税を検討中の方がおられましたら、ぜひ私どもの取り組みをご紹介します。

岡山県瀬戸内市ふるさと納税特設サイト

<https://setouchi-cf.jp/nagashima/>



ご寄付いただいた皆様（R4.3.16～R4.11.14）

安野 豊 様	100,000円
藤岳 尋幸 様	5,000円
石丸 幸子 様	2,300円
藤澤 祥子 様	10,000円
小川 秀幸 様	10,000円
本幡 照夫 様	9,000円
匿名様	金額非公開 4件
合計10件	596,882円

編集・発行

特定非営利活動(NPO)法人

ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会事務局

〒701-4501岡山県瀬戸内市邑久町虫明6253番地

（国立療養所邑久光明園旧入所者自治会館内）

TEL：0869-24-8872 FAX:0869-24-8873

email：hansen-wh.jp@aioros.ocn.ne.jp



開所日：火曜日～土曜日

閉所日：日・月曜日、祝日、振替休日、年末年始

開所時間：午前9時～午後5時

※編集後記はお休みしました。

◎この会報誌の著作権は本法人に帰属します。無断転載はご遠慮ください。